【第2回ワークショップの意見】

図面 番号	意見の概要箇所	住民意見	住民意見に対する 専門家のコメント
	小町大路全体 (取組み案に対して)	・ バイクがハンプに乗り上げた時はどうなるか ・ ハンプを設置したことによるデメリットはあるのか ・ ハンプ設置の際、ボラードは必ず設置するのか ・ ボラードに手をつけて転んでしまった人がいる ・ ハンプはどのくらいの荷重までいけるか ・ ハンプを外してほしい時はどうするか ・ 景観に配慮したハンプの色にしてほしい ・ 家の入口にハンプがあっても大丈夫なのか ・ 注意喚起の看板は出入り口以外にもあって良い(人目に付く場所に設置する) ・ 注意喚起の看板により、運転者だけでなく歩行者にも理解してもらい協力を促す	・ スピードを出しすぎなければ安全である ・ 国交省の技術基準のハンプについては、事故等は起きていない ・ 基本的に注意喚起のため設置は必要である ・ ボラードの高さや硬さ等は工夫する必要がある ・ バスも通行可能 ⇒小町大路の設置は可能 ・ 一度設置したものの撤去は難しいため、社会実験を行うなど丁寧にアプローチして設置個所を検討する ・ ベンガラ色であれば問題ない ・ クルマの出入りが無い場所への設置を検討している ・ 交差点中にハンプを設置するなどの対策が必要となる ・ 看板の数や内容の情報量、設置間隔には注意する必要がある
	小町大路全体 (その他に対して)	・ 今小路通の社会実験で得た知見を小町大路でも活かした方が良い ・ 効果を検証するために、やってみなければ分からないということなら、社会実験は積極的に行うのが良いと思う ・ 横断歩道は安全・見通しの良い・滞留できる場所がある箇所に設置するのが基本 ・ ブロック塀は災害時危険なのではないか ・ 歩道にクルマがはみ出してくることに對する対策はないか	・ 物理的な分離はボラードを設置すること ⇒逆にボラードで明確に区切られることによりクルマのスピードが出しやすくなる。

図面 番号	意見の概要箇所	住民意見	住民意見に対する 専門家のコメント
		事故の原因を究明することも必要ではないか(電柱付近での事故が多い)	歩行者とクルマのすれ違い事故への対策として、路側帯を広げ、クルマができるだけ中央を走るようにする
①	大町四ツ角交差点 小町大路北端	緊急避難場所の看板とセットで、注意喚起の看板は是非設置してほしい	
②	鎌倉婦人子供会館前 T字路	横断歩道の位置を右側に変更してほしい	横断歩道の設置理由等の経緯を確認する必要がある。
③	鎌倉婦人子供会館前	ハンプの設置に賛成	ハンプと民有地とのすりつけは、排水との関係が課題
④	鎌倉婦人子供会館前 路地 (若宮大路に出る道)	- 個人宅から保育園になった - 保育園前の歩行者の出入りができない - 一方通行だとよりスピードがでるのではないか - 一方通行化に賛成意見と反対意見がある	
⑤	鎌倉郵便局前交差点	郵便局前交差点の青秒数が短い	青秒数の理由を明確にし、その経緯を住民の方々に共有できるようにする
⑥	小町元町周辺	カーブミラーを設置してほしい	基本的にカーブミラーは公道と公道の交差点にしか設置できない
⑦	小町元町 T字路	- 交差点に隅切りがない - 隅切箇所に置石があるため、クルマが大回りしなければ曲がれない .	
⑧	小町二丁目東周辺	カーブミラーの設置	
⑨	小町上町明光周辺	路上にごみ置き場がなく、沿道の壁にネット等を引っ掛けているため、歩行しにくい	